## ○消防庁告示第十一号

防 消 検 防 平  $\mathcal{O}$ 用 結 用 設 成 果 + 設 備 備 六 に 等 等 又 0 年 は 消  $\mathcal{O}$ 1 点 特 て 防 検 殊 庁  $\mathcal{O}$ 告  $\mathcal{O}$ 報 消 基 告 防 示 第 潍 書 用 設 及  $\mathcal{O}$ 九 号 様 び 備 式 消 等 消 防  $\mathcal{O}$ 第 防 用 種 設 類 法 備 施 及 及 等 び 行 U 点 第 点 規 検 検 則 兀 結 第 内  $\mathcal{O}$ 果 容 規 報 + 定 に 告 応 に 書 基 じ 条 に 7 づ  $\mathcal{O}$ き、 行 六 添 付 う 第 す 点 昭 る 和 検 項 点 及 五  $\mathcal{O}$ 検 十 期 び 第 票 年 間 消  $\mathcal{O}$ 項 様 防 点 式 庁 検  $\mathcal{O}$ 告  $\mathcal{O}$ 規 定 方  $\mathcal{O}$ 示 第 法 に 基 部 + 並 づ を 兀 び 号 < 次 12 点 消  $\mathcal{O}$ 

平成二十八年三月二十八日

别

表

第

+

三

(1)

イ

(<u>></u>)

a

を

次

 $\mathcal{O}$ 

ょ

う

に

改

 $\otimes$ 

る

ょ

う

12

改

正

す

る

消防庁長官 佐々木敦朗

a 蓄積音声情報送出後の呼返し

쎒 穒 草 詽 疝 盤 14 送 田  $\subset$ 7 筱 <u>(1)</u> 便 的に10秒 罡 쏊 畑 がな 縩 14 ᇎ 救 序 斌  $\overline{\phantom{a}}$ 洏 卓 ZZ Z 羙 E 14

秒  $\subset$ 非 三 闽 別 铝 表 4 第 を に 十三 改  $\mathcal{O}$ 終 (1  $\Diamond$ 7 (1)  $rac{1}{2}$ ر پرک 後「 並 イ 消 (ŷ) に 招 に (1) С 改 中 襚 黓  $\Diamond$ 账 烮 쎒 澶 쎎 Z 界 穒 同 績 斌 表 5 ψ 世 卌 (1)朑  $\subset$ (1) 1 を 疝 4 報 (ス) 削 涶 報し `\ 4 り С 涶 中 報 尕 を 演  $\Rightarrow$ +答 報し Ñ 瓣  $\subset$ 漸 强 漸 穒 報 罡 を 些 圳 也 摋 of 詽 演  $\widetilde{\restriction}$ 膕 疝  $\mathcal{O}$ 計 澶 봻 1 を S  $rac{1}{2}$ 14 に 涶 湵 通 畑 改 E S 罡 14  $\Diamond$ がだ を  $\mathcal{N}$ に 終 1 同 改 表 账 4 8  $rac{1}{2}$ 烮 (1) $\subset$ 幂 7 ウ 同 斌  $\mathcal{O}$ 筱 表 次  $\subset$ <u>[1</u> (1)に  $\widetilde{\cap}$ イ 次 扵 (<u>></u>) 0 便 d よう 恕 中 Ñ 否 紁 -

加

え

る

- H 回線終端装置等 (IP電話回線を使用する火災通報装置に限る。)
- (7) 外形

変形、損傷等がないこと。

- (1) 予備電源
- a 外形

変形、損傷、著しい腐食等がないこと。

b 回線終端装置等との接続

接続部に緩み、損傷等がないこと。

c 切替装置

紦  $\mathbb{H}$ 틢 源を停電状態にした  $\sim$ 14 に自動的に予備電源に切り替わり、常用電源が復旧した

- ときに自動的に常用電源に切り替わること。
- d 充電装置

異常な発熱等がないこと。

別表第二十六(1)を次のように改める。

- (1) 専用回路
- ア 消防用設備等専用である旨の表示があること。

 $\angle$ ᇎ 採 挖 □ ٣ 絽 法 셿 溢 圌 5 彸 施行 挖 がだ PY. × . H 野 用 囻 庚 設備 火災 規則 7 用する 緩 5 れていない配線から  $\mathcal{H}$ 演 等への配線の途中で他の負荷のための配線を分岐  $\mathcal{O}$ (昭和36年 火災 報業業 ないよ . 闽 腘 ٧٧ 報 9 に推 採 基 Ш-滔 嗣 準 嗣 7 渺 # N √F 庥 れている場合  $\sim$ 徭 成  $\mathcal{N}$ 5 0  $\infty$ がん 셿 年 終 消 搖 5; 第25条 挖 5 採 규 . H 刑 腘 かり、 徭 鄉 ╢ (1 徭  $\omega$ 3 の限り 屈 H  $\vdash$ 卓 舥 账 J 該配線 4 4 でない。 卓 徭 N  $\overrightarrow{A}$ N  $\omega$ 第16-4 の接 せていないこ 9 1 쏊 続部 源が、 卓 9 75 戡 分 黙 定 币  $\overset{\circ}{\sim}$ 振 饇 動 4 巍 ٦  $\mathcal{O}$ 4 × 5  $rac{1}{2}$ 火災 . ٦ . 1 9 Н 衝 罡 Ъ . 温 嫐 틢 <u>(1)</u> 溢 畑 報 ᇎ

表 哲 が 野 2 便 别 (5)7 表 侕 中 5 第二 卓 75 作 PH + 発 ていないも 動装置及 九 侕 af 1  $\overset{ }{\sim}$ (1)1 Ç, 210 中 に 改 を削 め、 H 厘」 J る。 を 同  $\forall$ J, 表 犀 2 樂 (4)霘 揿 中 关 に 「作動装 郻 改 8) \_ 置 を 同 加 表 を え 2 中 同 四世 表 ケー 5 2 馞 (2)· ジ 酷 中 Nr 7 作 关 <u></u> 動消火設備 動装 影 圌  $\mathcal{O}$ ZŽ, 下 作 に 動す に (非 改  $\overset{\square}{\sim}$ め、 疟 を 儡

同

凝

輸送						Ī	H	K	Ť	Ħ	#	È	Ħ	>	i i	,	÷								)	h	≩DŢ	野	₩		뭰
2 1				<del>\</del>									*					黨	曲	龕	4				東	\$	検種				鞣
		深區 企業	重要		用	丰	#	漸	麻	ii E	世	4	ſτ	表	*	囲	尤	印	删	誻	贵	*		ĵD†	È	k	星	在	柊		別記様式第13
この用紙の大き種別・容量等の		通報装置を 除へ。)	選売が出来が		型	積音	動起動装	盎	先	138	· 堂 蔡 括	7	Ч			囲		3		<i>λ</i> κ:				檢	氏名	浴格				٠	==
大の対象で	画網	陌	大系	推	Œ	#	動装	頭出	漸	連	手動	童	1			9	#	替		蘂				項			蒸			消防	
大きさは、 、緑の内谷棒	終了後		答時の	戸情報送	~	情報	置優先	7	봻	動起	洒	믐ㅁ					辮	辮		菝				Ш		番号	銟			菠機	
Ď 畫 ´ ĭ ĭī Ⅲ	の再返		不応答時の通報継続	精音声情報送出後の呼返し	蒸	蒸	癒	癜	蒸	動機	動装		×			犬									1					罿	
N A 該 e	_	櫛	統	) M		ء	拙	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	部	掘	岡	樂	濫	븼	悉	兇	剛	岡	$\mathbb{H}$	蟾	븼	悉	<del>-&gt;-</del> -		1	्रीप	点後			<u>&gt;</u>	
<工業規格A4 該当するもの																							藧	種別	세	検	年月			通報	
642 607																							器	・容量		<u>₩</u>				4	
401	1																						-910	点	住所	名				94	
すること。 ついて記入す ないむさぎょ													⊳						V				}□ <sub>T</sub>	)内容			併			火災	
(1 10 14																								世			Ъ			热	
10																							嶽	推 定						知	
t i																								果 不		_	~			設備	
14																								畑		TEL		立会者	招 火 料 料	一	
; }																								忆			併	*	火者	横	
1																								卒			Я			鄦	
<u> </u>																								措置							
·																								K			ш				(20)
																								科				<b>(4)</b>	<b>(4)</b>		1)

2 種別・容貴等の内容欄に、該当するものについて記入すること。
 3 判定欄は、正常の場合に○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 5 措置内容欄には、点検の廖排置した内容を記入すること。

離	報	心様	₹ €	é	洲	備	京館	14年	八尖部	÷0/	一批	E ( )	が終出	治和				圃	狱	報	# /	Ĭ	窓	火			
Ī			2	蘇			鎭		蘇	癜		讪		発	(単	装 晋	誰	凝淡	回	剛分	专业	隔距	胼	₹			Þ
				器			蘇	5	画 響 芳	幣	ž	装	*	픨		三番	iii N		外	滋	戕	≯	凊	Н	類の	(特定火災 通報装置に	無
	L	1	+	Ŋ				2	新	246	ä	rib D		囲		3	H H						#	11	_	に大災と間に	一門
			1	世			識	亊	*	纀	浀	華		0	光	Œ	遊	交					0	Ŕ	概細	臣	
			2	4				核		救	動起	しず			曲	褂	回線終端装置等との接続							1	回線		1
			2	<b>₹</b>							動機	8		犬	採	狱	をとのす						洪	癥	の解		
			- 2				芍	芍	芴	灣	霜	(	悉	況	圃	岡	強	悉	悉	部	쉐	悉	況	ء	椛	哲	
	L	4	1																								
			Š	製浩老久																							
			Ī	地																							
	r	T	2	森																							
				湘																							H
	_	1	Ī	M																							
			ŀ	世																							ŀ
			1	4																							
			2	<u> </u>																							
			-	松正年日																							L
	L	4	1	4																							
			Ì	製治者名																							
			I	₩ ₩																							

- 5 -

別記様式第二十八(その一)を次のように改める。

				威容ガス			大事	ハ 消	用 に え	_	撰			1 1	1 1																		所 点 点 ペッケージ 蓄消剤を検検 関 人 表 表 数 大薬酸等 消 に	○ 所 点 点 パッケージ 蓄消剤を検 しょくり を表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表
)± //		H H	安 全 禁		<b>补</b> 据	*	ガス容	加圧用	7	誰	₩	火薬剤		пс	N   N		2   #   #   #   #   #   #   #   #   #		X     ※     谷     次     括       H     ※     部     上		消火薬剤貯蔵容       安全装置     外       安全装置     外       ※ 消火薬     ※ 消火薬       ※ 消火薬     ク       容器弁     分       バル     ブ       指示     エーカ	一部   次   存   八   指   版   次   存   八   括   元   表   分   次   目   形   ま   上   上   上   上   上   上   上   上   上	消 安 ※ 谷 、 描	海水水。冬、大指置水、金、水、指	新	田	選   ※ 徐 《 祐	画   流 安 次 存 人 描     画   ス 報     数 評 器   元   1 元		E	本		在 B	株 在 別 格     は 数 谷 八 枯 調 質 成 ※ 谷 八 枯 調 で ままままままままままままままままままままままままままままままままま
ρja	1 4	Į	叫	-	<b>∌</b>	Ħ	器表	用外	Į ų	头	拼	削貯		Ħ	Ħ	H 7 H	# T I	<b>(本)</b>			選	選   選   選   供   グ   次   表   表   が   が   が   が   が   か   か   か   か   か	保護   開   学   年   ゲース   日   日   日   日   日   日   日   日   日		作   一		保    機    選    年   子   子   日   日   日   日   日   日   日   日				帝   位   成   e	一般 一		
绀		安全		安全	*	К				燕		瀬谷谷		4	4  '	(4 T E	世   ゼ   ゼ	薬(全)、一力	金薬金	金薬金	蔵すり安全を変えて、カースのののでは、		横へなり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、な	「	横巻後半りなりでのできる。	**  **  **  **  **  **  **  **  **  *					器	総合の機能の企業を表現します。 第3年 2 表現 2 表		
라		亷	炭	亷	悉	뼆	宗	宏	猫	坐	岡	뫪		中	型猫	部 継 年	形を対する	対	性 刻 形 性 類 計	形性剂形性類計	器形性刻形性類計	所器 形 性 剤 形 性 類 計	灯 所 器 形 性 剤 形 性 類 計	示好所器形性剤形性類計	形示灯所器形性刻形性類計	況 形 示 灯 所 器 形 性 剤 形 性 類 計	説 形 示 対 所 器 形 性 剤 形 性 類   機							
																															を	京原 藤 藤 殿 思楽 楽 風 楽 全 県 全 本 全 また かんりょう		
																											Na Sha			<u> </u>	- Man (			
																											-	最等の内容			名 原 点 野 調 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	神 原 神 原 作名	1	
L													l															敬	を			帝		Manage
																											<u></u> βπ							
L																												所	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	田		
																												<b>ド</b>						
																																	는 사람들이 되었다. 그 보다 되었다. 그 보	防管 立田
L													ļ															份	勃	的	TEJ			
													ĺ																					
													ĺ																					
																				,														

				11型  (	(1 - 南 1)   (1 - 南 1)   (1 - 南 1)   (1 - 南 1)   (1 - 市 1)   (1 -       1)   (1 - 市 1)   (1 - 市 1)   (1 - 市 1)   (1 - 市 1)   (1 -       1)   (1 - 市 1)   (1 - 市 1)   (1 - 市 1)   (1 - 市 1)   (1 -       1)   (1 - 市 1)   (1 - 市 1)   (1 - 市 1)   (1 - 市 1)   (1 -       1)   (1 - 市 1)   (1 -       1)   (1 -       1)   (1 -       1)   (1 -       1)   (1 -       1)   (1 -       1)   (1 -
					HE   HE   HE   HE
					性 性 性
					性   性
					[性
					(1型・11
		L	,		(1型・11
	MPa		_	11型) (	(1型・11
	MPa	(L)	<u> </u>	11型) (	(I 型・II
	MPa	( L)	<u> </u>	1型) (	I · 型 I
kg MPa	MPa	(L)	<u></u>	1型) (	(1型・11
kg MPa	MPa	( L)	<u></u>	1型) (	(1型・11
kg MPa	MPa	( L) kg	<u> </u>	11型) (	(I 型・II
kg MPa	MPa	( L)	<u> </u>	1型) (	(1型・11
(kg又∤tMPa)	(MPa)	آجا	(Ag X f & L)		(区分)
容器     規定量     測定量     ガス圧力値	定使相来 重量	遵	製造番号 規定量 (容器番号) 規定量		消火渠剤の 種類
加圧用ガス	Î B	消火薬剤			号
	<ul><li>加圧用ガス</li></ul>	1 –			

重	測定機器	妣	症	赗	汝	巌	パッ	-	ЦK	礇		別言
7 5 5 4 3 2 1	蒸						4					人様は
26. ※ 游	霜			視	Œ		ージ型	継				別記様式第29
にの用策のに被語来の機能を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	<u>名</u> 型	_				規	目動消			知		9
のの、あはるある代理に発生を表し、	E21			諺	排		消火設	狱	狱	-		
が明ら聞いる はららまる はらの 縁、の、はの場と なはに	料						受備の					
この用紙の大きさは、F本工業規格A4とすること。 点検結果の種別等の内容欄は、数当するものについて言 判定欄は、正常の場合に〇印を、不良の場合は×印を書 無機なは、点検の際の特置した内容を記入すること。 然目のあるものは、(その4)に存器ことに、技術果を ※目のあるものは、(その4)に存器ことに、技術果を ※回のあるものは、到表第23、別表第24又は別表第 に規定する配後の点検薬によること。	<b>泰</b> 三			443	平	#	)運動	置	岡	喪	촳	
大瀬八田 東北 はの 「	年月											
機数、○たび、 格談 本当 不明 内 たい の と お と の と な と と と と と と と と の と こ と の と こ と の と こ と の と こ と し と と こ と と と と と と と と と と と と と	7324	_										
本工業規格 A 4 とすること。   本工業規格 A 4 とすること。   本種は、数当するのについて記入するこに○印を、不良の場合は×印を記入し、不に○印を付すこと。   事項に○印を付すこと。   本事項に○印を付すこと。   本事項に○印を付すこと。   本事項に○印を付きこと。   本事項に○印を記入すること。   大学路ごとに点核粧果を記入する。   別表第24又は別表第25に規定す   原によること。	製造者										□⊳	
なられている。これである。これである。これである。これである。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	2000年											
- C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	藩											
記入:記入:記入:	器										泙	
すること、おおいまること、おおいまる。	名	_										200
の表現の対象を表現して	掛											4
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	붜										茶	グ歴
こと。 不良内容欄にその内容を配入する 5こと。 5こと。 2する非常電源の点検の基準並びに	校正	-										ジ型自動消火設備
内容を表	E年月											消火語
一 人	ш	_										設備
この用紙の大きさは、F本工業規格A4とすること。 点検証果の種別等の内容権は、数当するものについて記入すること。 判定欄は、正常の場合に〇印を、不良の場合は×印を記入し、不良内容機にその内容を記入すること。 判定欄は、正常の場合に〇印を付すこと。 製式使のある権は、数当事項に〇印を付すこと。 電機には、原検の際の措置した内容を記入すること。 ※9日のあるものは、(その4)に容錯ってに点核結果を記入すること。 ※9日のあるものは、(その4)に容錯ってに点核結果を記入すること。 ※87日のあるものは、(その4)に容錯ってに点核結果を記入すること。	要 造											(₹の3)
で、大大	格名											3)

「測定量(kg(L))」の機の( L)内には、 るか、測定値を記入すること。 「善圧力値(MPa)」の欄には、消火薬剤貯蔵容器 こと。	- 1 この用紙の大きさは、F本工業規格A4とすること。	型・Ⅱ型)( ( L) MPa kg kg	MPa kg	型・II型) ( ) ( L) MPa kg	型・II型) ( ) ( L) MPa kg	型・II型) ( ) ( L) MPa kg kg	型・II型) ( )	型・II型) ( ) ( L) MPa kg kg	(III·版II) ( ) ( $III·版I$ ) ( $III·版I$ )	型・II型) ( )	(I	$\Pi$ 型) $\begin{pmatrix} & & & & & & \\ & & & & & \\ & & & & & \end{pmatrix}$ $\begin{pmatrix} & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & $	型・II型) ( )	型・II型) ( )	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	생				A 4 7 4 7 4 7 4 7 4 7 4 7 4 7 4 7 4 7 4	TT 対 対 機 構 森		
型・II型) ( L) Kg MPa MPa Kg MPa MPa MPa Kg MPa MPa MPa Kg MPa MPa MPa Kg MPa MPa MPa MPa Kg MPa MPa MPa MPa MPa MPa Kg MPa	1型) ( ) ( L) MPa	1型) ( )	型・11型)( )     ( L)     MPa     Kg       型・11型)( )     ( L)     ( L)     MPa       MPa     ( L)     Kg       型・11型)( )     ( L)     ( L)     MPa       MPa     ( L)     Kg       MPa     ( L)<	1型) ( )	1型) ( ) ( L) MPa	1型) ( ) ( L) MPa	I型) (	I型	I型	T型) ( )	T型)	型·II型) ( )	型・II型)( )	型・II型) ( )		g MPa	kg		MPa	(L)		( )	(I型・I型)

パッケージ型自動消火設備(その4)

番号 消火薬剤の 種類 (区分) 別記様式第29 製造番号 (容器番号) 規定量 — (kg又/はL) — 消火薬剤・加圧用ガス 消火薬剤 (L) L) kg MРа MPa 容番器号 
 規定量
 点検結果

 測定量ガス圧力値

 (kg又/がPa)
 (kg)
 (MPa)
 加圧用ガス MP: MΡ

(I型・I型) (I型・I型)

## 附 則

1  $\mathcal{O}$ 告 示 は 平 成 + 八 年 兀 月 日 か 5 施 行 す る。

2 う。 ょ <u>つ</u> ŋ 平 1 そ て 成二 別 は  $\mathcal{O}$ 表 + 技 ۲ 第 術 八 十三  $\mathcal{O}$ 上 年 告 消  $\mathcal{O}$ (1)示 基 防 に 準 庁 ょ に 告 (<u>></u>) る 示 0 第 及 改 1 六 正 7 び 号 な 後 お  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 規 昭 火 従 定 災 和 前 に 五.  $\mathcal{O}$ 通 + 例 か 報 か 年 12 装 わ 消 ょ 置 5 防 る  $\mathcal{O}$ ず、 庁 基 こととさ 告 潍 な 示  $\mathcal{O}$ お 第 + 従 れ 部 前 兀 た を 号 火 改  $\mathcal{O}$ 例 災 正 次 に 通 す ょ 項 報 る る。 件 に 装 お 置 附 1 12 7 係 則 る 第 点 新 告 検 項 示  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 基 規 لح 準 定 に 12 1

イ

a

d

3 第 式  $\mathcal{O}$ 消 第二 間 <u>二</u> 十 防 消 用 は 防 + 九 設 機 八 な 備 関 (そ お 等 ^ そ 従 0 点 通 兀  $\mathcal{O}$ 検 前 報 結  $\mathcal{O}$ す 果 例  $\mathcal{O}$ る ` に 規 報 火 告 よることが 定 災 別 12 書 記 報 か 様 に 知 式 か 添 設 第 わ 付 備 できる。 5 す ず、 十八 る パ 点 ツ こ の 検 (そ ケ 票 ] 告 の 三 <u>-</u>  $\mathcal{O}$ ジ 示 様 型 式 消  $\mathcal{O}$ 施 に 火 行 別 設 9 記 備  $\mathcal{O}$ 1 日 7 様 及 か 式 は び 5 第二 パ 起 新 ツ 算 + 告 ケ L 九 示 て 六 別 ジ (そ 記 型 月を経 の 三 -様 自 式 動 第 消 過 及 + 火 す び  $\equiv$ 設 る 別 備 日 記 別 に ま 様 記 係 で 式 様 る

昭和五十年消防庁告示第十四号 (消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式)の一部を改正する

## 件 新旧対照表

0 昭和五十年消防庁告示第十四号(消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式)

(傍線部分は改正部分)

										ア (略)	(1) 火災通報装置	次の事項について確認すること。	機器点検	別表第13 消防機関へ通報する火災報知設備の点検の基準	改正後
常用電源を停電状態にしたときに自動的に予備電源に切	(対) 切替装置	規定値以上であること。	(1) 電圧	断線、端子の緩み、脱落、損傷等がないこと。	(ウ) 結線接続	適正であること。	(4) 表示	変形、損傷、著しい腐食等がないこと。	(7) 外形	アー予備電源	(1) 火災通報装置	次の事項について確認すること。	機器点検	別表第13 消防機関へ通報する火災報知設備の点検の基準	現

## イ本体

(ア) (器)

 $\subseteq$ 

(器)

- (ウ) (略)
- (+) ( | | |
- (四) (點)
- (対) (略)
- (力)~(中) (略)
- 通話機能等(特定火災通報装置を除く。)
- a 蓄積音声情報送出後の呼返し蓄積音声情報を送出した後に、自動的に10秒間電話回

線を開放し、呼返し信号が送出された場合に、当該呼返しに対し、応答し通話することができること。

り替わり、常用電源が復旧したときに自動的に常用電源に切り替わること。

(カ) 充電装置

変形、損傷等がなく、異常な発熱等がないこと。

イ本体

(ア) 周囲の状況

周囲に使用上及び点検上の障害となるものがないこと。

(/) 外形

変形、損傷等がないこ

(ウ) 表示

適用 いめるい

°

(エ) ヒューズ類

損傷、溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用

(計) 予備品等

されていること。

予備品及び回路図等が備えられていること。

(対)~(サ) (略)

通話機能等(特定火災通報装置を除く。)

a 消防機関側からの呼返し

潜積音声情報を送出した後に、自動的に5秒間電話回線を開放し、消防機関側からの呼返し信号により応答し、通話することができること。

- Д, (器)
- C 切替

送受話器側に切り替えて通話できること。 蓄積音声情報を送出中に、手動操作により電話回線

通話終了後の呼返し

þ

し、呼返し信号が送出された場合に、 応答し通話するこ 通話が終了した後に、 とができる 自動的に10秒間電話回線を開放 1 ° 当該呼返しに対し

- (7) 通話機能等(特定火災通報装置に限る。)
- ٥ (器)

а

電話回線の保持

C

通話中に電話回線が開放されないこと。

<u>4</u> (器)

か (器)

 $(7)\sim (\pi)$ (器)

Н 回線終端装置等 (IP電話回線を使用する火災通報装置に

限る。)

 $\widehat{\gamma}$ 外形

変形、損傷等がないこと。

予備電源

а 外形

- 6 (器)
- C 切替

PH

話器側に切り替えて通話できること。 蓄積音声を通報中に、手動操作により 電話回線を送受

Д 通話 中断時の呼返

<u>消防機関側から</u>呼返し信号が送出された場合に、<u>火災</u>通 <u>蓄積音声情報を通報中に強制的に</u>電話回線を開放し、

(Z 通話機能等(特定火災通報装置に限る。)

報装置側で通話でき

Ø 1  $\sim$ 

- а • σ (器)
- 電話回線の保持

C

通報中に電話回線が開放されないこと

(器)

か 遠隔起動装置 (遠隔起動装置を有する火災通報装置に限る

 $(\mathbf{T}) \! \sim \! (\mathbf{H})$ 

(新設)

%形、 損傷、 著しい腐食等がないこと。

þ 回線終端装置等との接続

接続部に緩み、 損傷等がないこと。

С 切替装置

切り替わり、 常用電源を停電状態にしたときに自動的に予備電源に 常用電源が復旧したときに自動的に常用電

d 充電装置

源に切り替わること。

0 (器)

7 · K

(器)

異常な発熱等がないこと。

別表第26 配線の点検の基準

総合点検

次の事項について確認する (1  $\sim$ 

(1)専用回路

Y 消防用設備等専用である旨の表示があること。

 $\rightarrow$ 治省令第6号)第25条第3項第4号イただし書に規定する火 長させていないこと。 消防用設備等への配線の途中で他の負荷のための配線を分 ただし、 消防法施行規則(昭和36年自

> 消防機関へ通報する火災報知設備 (火災通報装置を除く。)

0

× . 7

(器)

別表第26 配線の点検の基準

総合点検

次の事項について確認するこ °

(1)専用回路

配線の途中で他の負荷のための配線を分岐させていないこと。 消防用設備等専用である旨の表示があり、消防用設備等への

盤との間に開閉器が設けられていない配線からとられており 通報装置に係る回線終端装置等であって、 まないように措置されている場合は、この限りでない。 災通報装置又は火災通報装置の基準(平成8年消防庁告示第 [号) 第3第16号の規定によりIP電話回線を使用する火災 当該配線の接続部が、振動又は衝撃により容易に緩 その電源が、 分電

- 2 (器)
- $\widehat{\mathfrak{S}}$ (器)
- <u>4</u> (器)
- <u>5</u> (器)

別表第29 パッケージ型自動消火設備の点検の基準

機器点検

次の事項について確認する 1  $\wedge$ 

(1) パッケージ

冬思 (器)

> 2 開閉器及び遮断器

損傷、 過熱、 接続部の緩み、 変色等がないこ  $\sim$ 

 $\widehat{\mathfrak{S}}$ ヒューズ類

損傷、 溶断等がなく、所定の種類及び容量のものが使用され

<u>4</u> 絶縁抵抗

ていること。

回路の絶縁抵抗値が適正であること

<u>5</u>

耐熱保護

耐熱保護部分は、 損傷、 脱落等がないこ °

機器点検

別表第29 パッケージ型自動消火設備の点検の基準

(1) パッケージ

次の事項について確認する

1  $\cap$ 

(器)

外形

変 炭 損傷等がなく、 <u>扉等</u>の開閉が容易にでき Ø [1  $\overset{\circ}{\vee}$ 

ヤ 表示

適正である

1

°

同時放射区域

Н

同時放射区域の設定、 用途及び面積は適正であるこ

 $\cap$ 

 $(2) \sim (10)$ (器)

2

総合点検

非常 電源に切り替えた状態

にあっては、 て確認するこ ° 監視状態) Š 試験用ガスにより、次の事項につい (非常電源が設けられていないもの

 $\widehat{\Box}$ (器)

2 受信装置

発 信号を発信すること。 同一の同時放射区域の他の感知部が発報する 報することにより火災信号を受信し、 任意の感知部を加熱又は加煙した場合に、当該一の感知部が 警報を発する (1 ر را ٦  $\sim$ S  $\wedge$ 起動 E1

 $\widehat{\mathfrak{S}}$ (器)

<u>4</u> パッケージ型自動消火設備の連動

B 場合は、 同時放射区域を二以上のパッケージ型自動消火設備で防護 同時に放射できるよう連動して作動すること。

<u>5</u> 選択弁

確実に作動  $\subset$ 試験用ガスが放射される 1  $\wedge$ 

> ※ 形、 損傷等がなく、 <u>扉</u>の開閉が容易にでき Ø (1

°

ヤ 表示

適正である (1 °

Н 同時放射区域

同時放射区域の設定、 用途及び面積は適正であること。

 $(2) \sim (10)$ (器)

 $\sim$ 総合 、点検

**しいて確認すること。** 非語 電源に切り 替えた状態で、 試験用ガスにより、 次の事項に

 $\widehat{\square}$ (器)

2 受信装置

発報することにより火災信号を受信し、 装置が作動すること。 同一の同時放射区域の他の感知部が発報す 任意の感知部を加熱又は加煙した場合に、当該一の感知部が 警報を発すると Ś (1  $\wedge$ により作動 7 45 17

 $\widehat{\mathfrak{S}}$ (器)

<u>4</u> 作動装置の連動

B 場合は、同時に放射でき 同時放射区域を二以上のパッケージ型自動消火設備で防護す Ø よう連動して作動すること。

5 作動装置及び選択弁

確実に作動し、 試験用ガスが放射される (1  $\wedge$ 

		(6)
		(6) · (7)
		(略)
_		(6
		(6) · (7)
		( 器 )

	別記様式第13
溢	
<b>E</b>	
쵫	
灩	
>	
涶	
燕	
4	
N	
⅓	
溪	
斑	
生	
뿿	
龠	
}Dt	
衠	
ЯЩ	

			Ž	Tr B	点検種別	所	,;		別記様式第13
	Þ	lţ	_	*	别	在	柊		第1:
	Ř k	ħ	氏名	資格 番号	機器			消防機関	3
			严	)Dr	詗			>	
艛	種別・		属会社	極者	検年月日			通報	
耜	種別・容量等の内容	点	住所	芒名				\$ 6°	
)Or	內內容	檢			半			火災	
	進	314			Я			糊	
蚕	冶	豁			т			知設	
	<u></u>	果		TEL	- }	1-1	防御	と備	
	東内				年	立会者	5 火 料理者	〕	
	俗				111			檢票	
	Ħţ				Я			Y)-1	
	Ī	粗 子			ш				(7
	4					#	9		(その1)
									ı

この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 4 3 2 1

措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

狱

光

通 報 機 能

連動起動機能

燕

起動機能

崖

K

Н

ſ

×

龕

∄⊓

# 濫 训 羰 Ĕ

类

 $_{\mathbb{H}}$ 充 Ė # 箈 表

#

9

关

攃

辮 辮

圃 圃

藇 픮 備

꺓

掖

쉐 炭 薮

 $\mathbb{H}$ 擔

≺

狐

瘀

埘

Ш

種別・容量等の内容 | 判 定 | 不 良

内容 華  $\mathbb{K}$ 

愆

jir

쏾 衠

账

器

)DT 衛

手動起動装置

報頭出し機能

¥

蓄積音声情報機能 手動起動装置優先機能

早

Ħ

| 機 | 能

通話機能等 (特定火災 通報装置を 除く。)

陌

黨

通話<u>終了後</u>の呼返し

不応答時の通報継続

蓄積音声情報送出後の呼返し

Ŕ

平平

E

藧 郶

蓄積音声情報機能 手動起動装置優先機能

報頭出し機能

先

通報機能

連動起動機能 手動起動装置

不応答時の通報継続 **消防機関側からの呼返し** 

也

欺

热

起動機能

崖

╓ 贵 \*

Н

1 ∃□

×

龠

# 濫 쉐 # Ĕ 圃 圃  $\mathbb{H}$ 擔 쉐 芴

予備電

縩

掖

滸 拏

也

 ${}_{\mathbb{H}}$ 充

#

9

¥

 $\blacksquare$ 蓉

辮 狱

<b>5</b> 1	4	ಟ	22	備考 1
措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。	選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。	判定欄は、正常の場合は〇印、不良の場合は×印を記入し、不良内容	種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。	この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

通話<u>中断時</u>の呼返し

選択肢のある欄は、該当事項に〇印を付すこと。	判定欄は、正常の場合は〇印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。	種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
	5	

別記様式第13	13			(4	(その1)
	消防機関。	へ通報で	する火災報知設	備点檢票	
名 称				防火 管理者	<b>@</b>
所 在				立会者	<b>(</b>
点検種別	機器	点検年月日	~ ま 日 本	年 月 目	ш
\$	資格 番号	檢	社名	TEL	
京館	氏名 ● 月	所属会社	住所		

12	
7	
族	
<b>=</b>	
>	
Ĭ	
掛	
4	
И	
₹	
€	
盐	
Ė	
į	
iii	
D <sub>T</sub>	
\$	
뗴	
	1

	本 通	別記様式第13
(特定火災	諸機能等	<b>§</b> 13
## IEI	ハンズフリー通話への移行	
		消防
		肖防機関へ通
		重報する
		通報する火災報知設備
		受信

編巻	榖	蒸	卍	픧	考	童	畲	9年表	八災部	÷ 0V <	主義市	R ( id	が検明	消除				圃	採	共	ŧÈ	¥	**	$\stackrel{\succ}{\prec}$			
. 2 2 -				癜			娯		蘇	瘷		副		继	<u>#</u>	宝 雅	誰	鎌炎	回	間)	野猫	隔柢	嶽	存			$ \forall$
				器名			蘇	Sales and a	直響者	豁		装	外	H		1. 無 馬 菜	(事) (1)		*	嫠	表	*	围	州	暖る。)	通報が 連報を を を を を を を を を を を を を を	通話機能
明・観点を発売される。			H	歴				_	_	遊	ä	_		囲		_		D. S.					囲				
の用紙の大きさは、 別・容量等の内容構 定欄は、正常の場合							鎭	乖	*		連動表	当し		0	充 電	切替	回線終帰装置等との接続	*					0	_ K	電話回	印	ハンスフリー連話への移行
は整備が				廾				核		皳	起動	삭		关	拼	※	に 関等						共	藧	線の		
二の用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。 種別・容貴等の内容欄は、該当するものについて記入すること。 通別・記責は、正常の場合は〇月、不良の命は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。 過ぎ得は、正常の場合は〇月、不良のことにより、				校正年月日			芍	均	患	莞	動機能	カン	形	況	置置	Alt 国	との接続	悉	悉	台	亦	悉	況	治	)保持	替	1个00移行
格る良品をものれ				煡																							
この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする: 種別・容貴等の内容欄は、該当するものについ。 判定欄は、正常の場合は〇月、不良の場合はX月 雑却即のもメ畑は、転坐車間につ口を仕ずこし				製造者名																							
18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 1				癜																							
, to				點			$\vdash$																				
₩ °~				*																							
良内容				慥																							
悪にん。				共																							
つ内容を記				校正年月																							
7				ш																							
٠ ١٢.				製造者名																							

盆地	器	蒸	1	測	<b>龍</b>	政備	独和歌	八災和	÷ 6⁄7 ∽	中華自	R < W	が後期	消化		町	採	燕	Ħ	災	$\times$	
1				藧		瓣		標	藪		T		発	( )	動法	隔起	蔥	₩			H
CT.				器		標	対異	連	澔	DXK	姚	*	Ħ	癜	贵	*	周	Ж	最ら	(連集)	高温格
9,				₩			N. O.	新		77	*		Ħ				囲	11	_	(特定火災 通報装置に	蘇聯
の用紙の大き				型			逊	*	纀	<u>#</u>	- 举		11991				1787	¥	碘	垣	
がか						識	-,	′		靊	٦		9				9	ſ	群回		NV A.)
OX III				共			核		掖	起動	共,		共				垪	े के	縺		リー連語への移作
				校正		y		j	246	瘯	. K	4			×1.	,		蒸	の保		E\\U\\
Ĥ ₩				年月		力	竹	悉	続	癌	4	悉	兇	177	ᆡ	悉	況	细	華	鞹	11
日本工業規格A4				ш																	
Α4				製造																	
20 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10				造者名																	
27				$\vdash$																	
٠ ا				機器																	
				8																	
				型型																	
				田田																	
				料																	
				校用																	
				#																	
				ЯН																	
				煡																	
				製造者																	
				3%																	

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

Γ			44	端	原谷	罪	来创	火	八消	4 Fi	油					ψ.	坐	三 三	雌				<;−	·4-	٤ %					ĵū	r	浜	平	7/9		77.80.14.74.70.00
			半	相唦	ガス	ĦŒ;	FI H			>,	*	撰				4	京城	消火薬	HI 円			蝦	粜	卅	*	亜		1	II <sub>T</sub>	療		検種別		هد ا		1
1	王 力	>	文 H 发	>	‡		*	ガス容	加压用	7:	淄	₩	火薬剤	益	) <sub>0</sub>	l	沙 相	※	H	计令计唱	消火	睴				囲			茶	兵名	海路	-	在	幣		1
П	· 論	1/	ju	18	147		Ħ	器機	田夕	y	×	狱	泙	Ħ	4		<b>∌</b>	×	_		火薬剤貯蔵	貓	쉐			9		'	Ħ	124	谷	機器点検・			>.	
П	櫻	7	安全,	<b>外</b>	安全,	*	Х				掛		複俗谷	七	7,	安全	*	揪	安全		阜					*			ш	<b>a</b>	者 号	総合点検			٧	
ŀ	嘂	猶	亷	悉	弃	炭	岬	引	悉	滥	座	岡	器	뿌	猫	亷	宏	单	弃	炭	器	所	竹	宗	悉	況	藧	畫		$\perp$	Dr .	$\vdash$			7 -	
																												種別・容		所属会社	檢	点檢年月日			7	
																											綿	容量等の内容	jūr	上住所	一件名	-			地	
																												り内容		쫴	79				消	l
																											渱	盂	〜			年			火	l
ŀ																												增长	裕			Я			55000000000000000000000000000000000000	l
																											徽	四四	無			- ⊞	立会者	影響	編点	
																												₹				\ }	神	防火管理者	液	
ŀ										-																		伱			TEL	年			脚	
																													頭			Я				
																												l '	_ ∑ <del>-</del>							
																												À	別				#	#		]

_																					_							_						_	7 20
		#	報	威容	[ ]	米坐	大事	ム消	#Ħ	#					4	対対に	消火薬	耕田				<b>%</b> -	-4.	٠ %					)		浜葱	所	7/2		疆
		468	容器	ガス	ΉŒ	甘			>.	*	撰	淄			4	複	辮	7			類	贵	썼	*	HE		1	h-	ĸ,		検種別				別記様式第28
${\mathbb H}$	>.	χ Η			§.	*	ガン	当		淄		火	並	7.		掛	*	)	tt Z	道					囲		3		1		_	在	標		第28
力	1/	×	Η̈́		指 b	H.	松	圧用	7	\.	州	坐	쉐	7		指	消	4	· 人 計 組	火薬剤貯蔵	皿	N.					`	.	氏名	資格	機器点検				
=		[II	_			1	米	*	y	×	辦	罚	Ħ	`	_	<b>₩</b>	$\times$	_		登馬	並	쉐			9		7			,				7.	
概	Ž	按金	*	安全	*	К	M	7	1	揪	XII	凝浴	t	Y	放金	*	揪	放金	字		2Im				关		I			権化	総合点検			હ	
點	類	治	憲	全体	憲	胂	븼	炭	溢	坐	岡	路	ᄪ	猫	中帝	悉	坐	全	宏	器	严	当	쉐	憲	災				#	- clin	点檢			7	
-		,			-		.,					7	Ė		,	,,,		-			-					癜	種別		里	)Ir	洫			ſ	
																											罗.		所属会	橅	点檢年			,	
																											從曲		羊	₩	:Д			3	
																										器	(単)	洫	住所	社名				型	
																											量等の内容	,	岸	_ E∧				溢	
																											世	檢			併			*	
																										)IIT		255						l '	
																											冶	部			Э			熨	
																										燕	K	無						龕	
																										,,	巫				⊞	立会者	防 火 管理者	)DT	
																											Æ				(	₩	火渚	奄	
																											坳				併				
																												di.		TEL	111			旭川	
																												.			Я				
																											Ţ								(H)
																											3				_				(その1)
																											1	žł				1	#		

- 10 -

番号 消火薬剤の <u>種類</u> (区分) 別記様式第28 消火薬剤・加圧用ガス 消火薬剤

パッケージ型消火設備(その3)

製造番号 (容器番号) 規定量 (kg又/はL) (kg (L)) 測定量 |蓄圧力値 L 点検結果 (MPa) M₽a M₽a 容審器 (kgℤ/JMPa) 进 定量 加圧用ガス 測定量 ガス圧力値 (kg) 点檢結果 (MPa) Ę. ₹.

(1型・1型)

(I型・I型)

Ľ,

₩a M₽a MРа

M₽a MРа

MΡε MΡε MPa MΡε MP. (国・工型) (I型·I型)

M₽a

MРа

MPa

MPa M₽.

MPa MP: MΡε MP. MPa MPa

₩a MРа L

M₽a M₽a M₽a

(I型·I型) (I型·I型) (1型・1型) (1型・1型) (国・国型) (国・国型) (1型・1型) (1型・1型) (1型・1型) (国工・国型) (EI·面I) (I型·I型) (1型・1型)

1 この月紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
2 「別定金(kg (L)]」の欄の( L) 内には、消火薬剤の質量を比重で換算した容量(L) を記入するが、別定値を記入すること。
3 「善圧力値(MPa)」の欄には、消火薬剤貯蔵容器が善圧式の場合、その指示圧力計の指示値を記入する。

M₽a M₽a

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 「測定量(kg(L))」の欄の( L)内には、消火薬剤の<u>重量</u>を比重で換算した容量(L)を記入するか、測定値を記入すること。
 3 「蓄圧力値(MPa)」の欄には、消火薬剤貯蔵容器が蓄圧式の場合、その指示圧力計の指示値を記入する。

M₽a

(1 量・	性・性・	₩.	Ē	(1型・	( I 型・	・蚕 I )	(I型・	(I型・	(1型・	(I型・	(I型・	(I型・	( I 型・	(I型・	(型式)	種別	番号当を推強の		
H ±/	# #	II型)	I型)	I型)	Ⅱ型)	I型)	II型)	I型)	Ⅱ型)	Ⅱ型)	I型)	I型)	1型)	Ⅱ型)	<u> </u>	;	9		
		( )	· ·	<u> </u>	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )		(容器番号)	世		
_															\(\text{ing} \)	規定量 (kg∇1+I)			
27	(L)	kg (L)	(L)	(L)	(L)	(L)	kg (L)	kg (L)	kg ( L)	(L)	kg (L)	(L)	kg (L)	kg (L)	(kg (L))	測定量	点檢結果	当人操名	消火薬剤・
	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	(MPa)	蓄圧力値	結果	A/ 11/17/H2/	加圧用ガス
															E	容柔器			K
															(kg∇l‡MPa)	規定量	/H/-T-/H/	加工田	
	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	(kg)	測定量	1	ガス	
	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	(MPa)	測定量 ガス圧力値	点檢結果		

- 11 -

別記様式第28

パッケージ型消火設備(その3)

ía 地	測定機器		症	猬	拔	巌	パッ	-	ЦK	緛		温图
7 6 5 4 3 2 1		椞					7					己様豆
26に※※菲摩書がい		器		英	E		一ジ型	継	信			別記様式第29
の食室児童印象現円結構取欄の印度を見るいまた。		名		-		坩	Ш	1200	2,	VII-		9
氏のようにあるよれのようなななななななななる。もと配		⊢		H25s	濉		動消火	2024	<u> अय</u> ्	知		
この月報の大きさは、日本工業規令A4とすること。 点核結果の種別等の内容欄は、数当するものについて記入すること。 地定欄は、正常の場合は口目で、不良の場合は又印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。 過来账のある欄は、数当事項に〇印を付すこと。 着音欄には、点検の際の措置した内容を記入すること。 ※印ああるものは、(その4)に容器ごとに点検結果を記入すること。 ※知のあるものは、(その4)に容器ごとに点検結果を記入すること。 ※紹印のあるものは、(その4)に容器ごとに点検結果を記入すること。 ※紹印のあるものは、日本第282、日本第28又は到表賞55に規定する非常電源の点検の基準並びに引表第 ※※初日のあるものは、日本第282、日本第28又は到表賞55に規定する非常電源の点検の基準並びに引表第 ※※打印あるものは、日本第282、日本第282又は到表賞55に規定する非常電源の点検の基準並びに引表第		걔		瞈	-finit		火設備の	滋	辩			
はの縁、の、は点、内合数線(、は点の数線)、複響を							の運動				蕊	
本語のお明明のは、日本日は、日本日に、日本日に、日本日に、日本日に、日本日に、日本の田に、日本の田に、日本の田に、日本の田に、日本の田に、日本の田に、日本の田に、日本の田に、日本の田に、日本の田に、日本の田に、日本の田に、日本の田に、日本の田に、日本の田に、日本の田に、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の田には、日本の日には、日本には、日本の日には、日本には、日本の日には、日本には、日本の日には、日本には、日本には、日本の日には、日本の日にはには、日本には、日本にはは、日本には、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にはは、日本にははは、日本にははははははは、日本にはは、日本にはは、日本にはははははははははは		校正年		継	半	#	學	岡	睴	퐘	60	
業、を記れている。 (24) 人でなどになる。 (25)		Я										
格当不印内謀別と A す良を容器別と		煡									Пþ	
4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6		製造者名									цу	
トることが いった。 とった。 をを を を を に に に る に る に る と る り る り る り る り る る と る る る る る る る		₩										
いいの かい から かい かん かい かん かい かん かい かん がい がま おき がん 乗売 できまる かん まま かん		縅									Į.	
記入。 記入1 記入1 25に3		器									泙	
かん 大郎 大路 大路 大路 ちんぱん		₩										7.0
が、いまない。		世										パッケージ型自動消火設備
· 辩		料									茶	ジー理
こその ぶつ)												由側
内内の検索		校正年										消沙
1.冷記		Ħ										機
入す!		煙										
5こと。		製造者名										(₹Ø3)
第 。		₩										] ==

無地	測定機器		拔	確		稩	核	牵	1	-	ДΚ	졣	
o 10 ⊢	Ž.	蕃						動	轡				
に点地の基金を		器				遊	Œ	拼圖	拼	業	TUIL		
一 近 楽 は 美		色						量及	圃			産	
大権の対象	15	12				鼵	শ	Ç	9	辩	辩	_	
この月紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。 点接給果の種別等の内容欄は、該当するものについて記入すること。 判定欄は、正常の場合は20日を、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入す	2	74						搬港	涶				
本 A E E E E E E E E E E E E E E E E E E	×	<b>芬</b>				徘	鄅	( 弁	#	圃	睴	꽛	游
1	1 2	苓 元 用 田 田 田											
- 格馬 - A - A - A		_											_\
4 ~	ji	態 語 器 名											П
97	1	Å.											
ů.	I .	禁			<u> </u>								洒
		器											
	H	造											
													擌
L		<del>1</del>											
		苓 刊 Ĥ											
	2	 											
r	ä	煙											
	E	悪 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・											

消火薬剤の 壊 種類 (7 (区分)((ス分)((ス分)((ス分)((ス分)((ス分)((ス分)((ス分)((ス分)((ス分)((2.3)_+((2.3)_+((2.3)_+((2.3)_+		(1型・肛型) (	(1型・1型) (	(厘1・厘1)	(国里・国里)	(庫Ⅱ・庫Ⅱ)	(西1・南1)	(1型・1型) (	(国里・国工)	(国工・型1)	(1型・1型) (	(1型・1型) (	(庫Ⅱ・庫Ⅱ)	(国工・国工)	(国土・国国)	(国工・国工)
2.造番号 字器番号)		)	)	J	<u></u>		J		J	J			<u> </u>	J	<u></u>	
規定量 (kg又/はL)																
点検結果 測定量	( L) kg	kg (L)	kg (L)	(L) kg	(L) kg	( L) kg	(L) kg	(L) kg	(L) kg	( L) kg	(L) kg	( L) kg	(L) kg	( L) kg	( L) kg	( L) kg
ist果 蓄圧力值 MPa) APa MPa	MPa	MРа	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa
器 規定量 号 (kg又/动Pa)																
点検結果 測定量 <u>ガス圧</u> (kg) (MP	K S	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	ķ
- I - I - I - I - I - I																
A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa
# 5   	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa	MPa
が a)  MPa	·	MPa ( )	MPa ( )	MPa ( )	MPa ( )	MPa ( )	MPa ( )	MPa ( )	MPa ( )	MPa ( )	MPa ( )	MPa ( )	MPa ( )	MPa ( )	MPa ( )	MPa ( )
# 5   	·							<u> </u>								MPa ( )
( )								<u> </u>								MPa ( ) kg
( )   ( )	( ) ( L) kg	( )	( )	( )	( )	( )	( ) ( L	( )	( )	( ) ( L	( )	( )	( ) ( L		( )	( ) ( 1
( )   ( )	( ) ( L) kg	( ) kg	( ) ( L) kg	( ) ( L) kg	( ) ( L) kg	( ) ( L) kg	( ) ( L) kg	( ) kg	( ) ( L) kg	( ) ( L)	( ) ( L)	( ) ( L)	( ) ( L) kg			
描写     製造番号     規定量     規定量     機定量     機定量     機定量     機定量     機定量     機定量     機定量     機定量     機定型     機定	( ) ( L) MPa	( ) kg	( ) ( L) kg	( ) ( L) kg	( ) ( L) kg	( ) ( L) kg	( ) ( L) kg	( ) kg	( ) ( L) kg	( ) ( L)	( ) ( L)	( ) ( L)	( ) ( L) kg			

○消防庁告示第十二号

消 消 防庁告示 防 法 施 第 行 匹 規則 号 消 昭昭 防 和三十六年自治省令第六号)第三十一 用 設備 等試 験結果報 告書の (様式) の 一 条の三第五項の規定に基づき、 部を次 0 ように · 改正 す る。 平 - 成元年

平成二十八年三月二十八日

消防庁長官 佐々木敦朗

別記様式第十四を次のように改める。

					ı		鬶			弄		覥			*									4	圃	株 雑	道	* *	高く	用			2387.1875
쇸		9		ψ					Ī	1	狱	Ī	## <del>+</del>	Ħ	Ń	泠		×					74	勻					面積	※			7
旗機	瘱	ī	ŭļi	発	48	聞雑	能激素	回	徘	※置	专注	薩斯	祵			Ŕ				*					選択信	極層描	*	製造者		~			1
蘇	4	蕪	蘇	熨	源		#	華	母	華		以上海	2	澒		H	4	政	雜	3	お 年 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	4	愛		おおき	便							<b>≅</b>
	龠	描		岡	電源	予備	驴	嶉	竣	祥	- 場	_	野響	電源	予備	乖	龠	极	革	. 嬰	_	場場	屈		号送出方式	拼圖				) 道			·
骥			常	貓	瓔	_	⊞		炭		置	悪の地	剛	瓔	種	#		贵		間	周囲の状況	岡			-	华							
	晋□	弃		野	置状		曲	帝	쉐	车	关	周囲の状況・操作性	猫	置状		H	∄□	쉐	序	关	١.	鏣	ш		D P	設置場所 (個数 個)	<b>¾</b>	品名・型			7	L Z	通報
奻	徘	ء	幣	継	代光	믤	顚	需	华	擂	党	操作性	严	代況	別	瀕	排	#	需	Ä	操作性	严			方式	地型					東蒙東 東東 全 用 用 用 大 名	}	40%
			床面等からの高さ			NiCd · その他(	V								Nicd ・ その色 (	V							種別・容量等の内容		(10PPS, 20PPS) · P	(1) (2) (3) (4) (5) (6)	自動火災報知設備運動	設置場所	㎡ 階数 地上 階 地階			試験実施目 年 月	消防機関へ通報する火災報知設備試験結果報告書
			m			<u></u>	AH								<u> </u>	AH							結果		B方式		有・無		器		巴	ш	

- 2 -

※印の試験は「火災通報装置の基準」(平成8年消防庁告示第1号)に適合している旨の表示が付されているものにあっては、省略できる。
 結果の欄には、良否を記入すること。
 超級についての試験結果報告書を添付すること。
 総合級作鑑が設けられているものにあっては、総合級作鑑についての試験結果報告書を添付すること。

別記様式第三十及び別記様式第三十一を次のように改める。

								酣			狱	l			動			赿	
	Pa .	MP						⊞ n			К			Ħ		ガス			
								別						種	Ħ	五町			
				1										폠			#	<b>器</b>	
								器	麰	Low	調	)	力	H			ガス容	Ħ	與
								猫		V		7		7.	器	癜	$\mathbb{H}$	#	
								#			銟			俗					
								器	俗	Ж	Ħ	⊞	Ħ	加					
								睴		辮		₩		按					74
								類	ゾ	,	7	>,	,	11					
								**	俗	25%	癜	野	4	i H			推	1)3	
								TH.	t	Ħ	쉐	描			器	藗	利貯藏	丝	<b>P</b>
								類	7		7	7.	,	H I			火 薬	iii	
								#		點		松	4	排 刊					
								器	泑	24%	嫖	野							
	0	岬	消火薬剤量	消火		猫	種類	產		嶽		*		溢		癜		严	75
								#	븼		#								
								*			*	7	11	ļ1					
								生能	・麻	神	華				ં	7 [	\$	>.	
								備						罚	ı				
結果	421	の内容	半	容量	别•	種				Ш		項		鑀	ĀΨ	74			
		設置個数	muli		-44	製造者	煡		如						4	認定番号	器		瘷
楷		地下	楷	地上		数	雷		$m^2$								積	延べ面積	用
	С	в.		Α	11111	造	華						)項		$\cap$		〜		田
	₽								₩	釆									
									州	$\Rightarrow$									
									*	実施	試驗実施者								
ш		Э	平	Ш	試験実施日	震	34												
				□(.) □(#	数4年	部	t 驗	金	-ジ型消火設備試験結果報告書	型消		パッケー	30						
∂																°	川記様式第30	一樣	- i

パッケージ型消火設備

(O)

<b>能</b>	零	称合武	\$		聚			蒸			蒙	熱質			
		籌			碶	H		Ħ		Æ	H.		[ <del>}</del>	<del>}</del>	
		総合作動試験		<del>1</del> ∃	# •		とし戻亡哲学	下 琳 孙		1075	á	4	ボボースリ	1 %	Ħ
		災霽		E 19%	in H		4	相		111 411	孙	`	计	삵	
	溢	校	/	華	<b>#</b>	圧	74	抽	铋	常電		X F	ا لا		霽
	*		×	4	凚	力		긨		源	囲	,	J		
	採	津	Ť	副	100	ij	7	- Nr		(内蔵		\	1 7	ſ	浜
	渔			Ħ	動切	讕		圧	100	(内蔵型のものに限る。)		Ж	,	,	
	9	萍	羅		J 替		J	力		t 01	ሔ	ラ悪	计		
	鯔		晃	科	蒸	Lich-		ή		ご限る			ا لا		
	#	Ë	*	曲	需	100	湽	빡	华	5.)	溢	*	採	K	
		放射時間													種別・
				V											容量等の
		参		АН							V			m	内谷
															結果

(備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 選択映のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
 3 Aは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火建築がで利装制限したものののではたもの文は単耐火建築がで利装制限したもの及びははためびびBU外のものをいう。
 4 結果の欄には、良否を記入すること。
 5 非常電源(内蔵型以外のもの)が設置されているものにあっては、非常電源及び阻線についての試験結果報告書を添付すること。

(空)		\$	零			7	u). 4			薦				\$					100	燕	至	<b>±</b>					温
大学   1		3 大 光 雅 名 文 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学	≓ R ⊞				1	利野 を器等	消火薬			專			ঙ			뀂		岳	ベ面積	〜					己樣式第
大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学		蒸						藏				揻			ſ			~	ЖT	大番		^					31
大		作器器	裕	H	1	}	4			出			44		エニッ		談		qia	防 護		)項				パッケー	
	楼	開放装置		ス容	1	ルブ	凝谷	录 圧 力	ルブ	動 装容器弁開放装置	横谷		翠図	쉐	*	造・強	備			積	$m^2$			<b></b>	1	-ジ型自動消火	
				71,-			71,4			,		種類 消火薬剤量		171				別・容量等の内		製造者	数 地上 階	造 A·B			-fi	1	

- 6 -

						貓							験				¥				鐎				*					
þ		Ĩ	世	強	: 便	作器等	田用		# \$	曲		E I	‡ E I			平	放出導		迭代井	é t	#	Ţ	章 信 策			超動装		2 課人等な	加圧用	Juila
ii K	Ť	型 发 可	拼				野属谷希、川 圧用ガス容		非常電源	录	嫠		談		ī	百百	Z	嫠	<i>У</i> Р	鯗	継	4	防	表示	手 動	終知司	वद पन दुव	ガス	加圧用	試驗
後	嫐	#	졣	炭	Ħ	>,	描	(企)		H		放	配合	Ē	震	单	岡					龠	<b>***</b>	灯	) 起	礇	礇	Ħ	種	
ス	報及	動起	*	<i>a</i>	力調	4	# 15	地大器	(内蔵型のも		器	*	当と	<b>III</b> 0				器	悉	器	装			· X	動	知	知	K		展
ユッ	び 表	雙機	知		馬棚	¥	圧 力	開放装	のに限	曲		聯	の接	圕	措	然	共					冊	措	イッ	絣	#	方	7		Ш
, F	쉐	THE	喪	#	器	猫	4	一個	5.)	藻	華	珊	続	#	围	路	党	華	華	華	聞	华	睴	, 4	剛	器	法	申	别	
										V																		MPa		種別・容量等の内容
																														部果

光	龕	翠			能武			13.
		零			動武			パッケージ型自動消火設備
		樑	缆		H T	-11	理	1
			合作動試	l	Ů.			型自
			便		#			前衛
					ă T	辮	微	火
		啉	選	誰	曲			没值
		嚩	珙	4	黨		L	1
		巙	华	#H			承	
		報作	乍	$\mathbb{H}$	動切	狱		
		年 動	動		西			
		サ	共	俗	蒸		Ш	
		洗洗	況	)## II	需	圃		
								1
							篇	
							則	
				<			-	
							谷量	
							事業	
		<u>'</u>	ľ		'	,	9	
							- - - -	
				`D			坳	
				ΑН				
							286	-
							結果	(3)
								-

備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
 3 Aは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Bは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火建築物で内装制限したもの及びCはA及びB以外のものをいう。
 4 結果の欄には、良否を記入すること。
 5 非常電源(内臓型以外のもの)が設置されているものにあっては、非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

附 則

1  $\mathcal{O}$ 告 示 は、 平 成二 + 八 年 匹 月 一 日 か 5 施行 す る。

消

防

用

設

備

等

試

験 結

果

報 告

書

 $\mathcal{O}$ 

様

に

0

*\* \

て

 $\bigcirc$ 

に

ょ

る

改

正

後

 $\mathcal{O}$ 

成 元

年

消

防

庁

告

示

第

兀

行

 $\mathcal{O}$ 

2 消 防 機 関  $\sim$ 通 報 す る火 災 報 知 設 式 備 パ ツ ケ は、 ジ 型消 告示 火 設 備 及 び パ ツ ケ ĺ 平 ジ 型 自 動 消 火 設 備 に 係 る

号 別 記 様 式 第 +匹 別 記 様 式 7第三十 及 び 別 記 様式 第三十  $\mathcal{O}$ 規 定に か か わ らず、この 告 示  $\mathcal{O}$ 施

日 か 5 起算して六月を経 過する日 ま で  $\mathcal{O}$ 間 は、 なお 従 前  $\mathcal{O}$ 例によることができる。

0 平成元年消防庁告示第四号(消防用設備等試験結果報告書の様式)の一部を改正する件 平成元年消防庁告示第四号(消防用設備等試験結果報告書の様式) 新旧対照表

(傍線部分は改正部分)

) <u>AH</u>			継	==		6 備	数十	<b>→</b>		
<u>AH</u>								_	-	
<u>AH</u>			विव	1 部		華	華		9	
<u> </u>		床面等からの高さ	部末	πĿ	作	751	華			
<u> </u>			₩	所 等	貓	軍	発設	VIVI	ψ	
<u> </u>			足	置状況	透透	1 電源	南源	10-		
AH		id ・ その他(	NiCd	別	種	予備	<b>単数</b>	mally V		
		V	<del> </del>	電源	⊞	<u>□</u>	世 田	51-25A-2		槃
			牆	性		費造	強			
	1		414	示 等	贵	交扱	華取		団	-
			याँग	性能		毒造	本権		8	74
			児	状 況	費置				辦	
			14	周囲の状況・操作性	株の囲	が 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単 単	を で			#
			所	貓	元	· 哪 惯			###	Ħ
			兒	置状況	費	<b>#</b>	源		<u></u>	
<u> </u>		d · その他(	別 NiCd	25	種	予備			á	*
AH		V	東	電源	#	海	存置		**	
			徘	品等		6 値	4			
	-		挙	示 等	表	) 扱	取		*	
			गैंग	性能		奉造	補			
			兄	状 況	受 置	設	<del>}</del>	XI.		
			并	況・操作性	周囲の状況	対画組織を	禁 型			
			并	場所	シ 置	. 設	4			
容結果	等の 为	種別・容量		Ш		項	舜		野	
									の合	1/4
PB方式	P P S ) •	10PPS, 20	共 (	DP方	4	号送出方	選択信号	強	뻬	
	(3)	) (2) ) (5)	所 (1) (4)	設置場所 (個数 個)	48	數 拨 置	羅問	<b>W</b>	雑 雑	
動有・無	自動火災報知設備連動	自動火災		廾				₩	漸	
		設置場所		唱化·断				製造者	火災	
審	階 地階	階数地上	m²						べ 面 積	高ん
						) 項			滋	<b>=</b>
Ħ			<b>ルエス地子</b>	斯爾 馬 田 門 名 名						
月日	#	試験実施日		1						
	#	消防機関へ通報する火災報知設備試験結果報告書	5火災	通報する	靈〉	消防核				

計験実施日 年 月   1   1   1   1   1   1   1   1   1	名   蒸業	藤	9	m i	そ 発	黎	松晒	Ī	YY II II II II	報	_	報報	曲体	**		<b>χ</b>			쾌	かの音	置選択	機 羰 域 區		火災に製造者を製造者を	延べ面積						
大 名   一	蘊		帯		暉	扱	描	-	1	1	電源	中倉	神	竣	革	<u> </u>	_				信号送出方	西粤装置									祖妙物料
年 月 日			弃		严	쉬	弃	关	の状況・操作性	姉	置状		曲	싓!	弃	关	の状況・操作性	皴	ш		DP方		Z	唱名·勤业		•	果	住	試験実加		はまって
				04								4	V AH						別・容量等の内		10PPS, 20PPS) ·	1) (2) ( 4) (5) (	自動火災報知設備運動 有	段 圖 泰 声	階数 地上 階			所	6者	年	(火块))及留外线在光坡口面

57
茲
選
>
涶
機
바
3
X
13%
報乡
温
受
垂

消防機関へ通報する火災報知設備

零

屈

ш

繿 믤 . 從 Hi 444 9 Z 谷

結果

(株)   (東)   (東	通報内容:	用試験	含	(	)	ψ						圃	辮	<del>+</del>	苗苗	K Ä	ŝ	⊁							型
手動起動装置   連動起動装置   連動起動装置   連動起動機能	世 谷 :	滋置	骤	郢	痩	常	挥쮂	電源			霽	¥	進籍	*	•				霽	Ħ	##	Ħ			a.m
手動起動装置   連動起動装置   連動起動装置   連動起動機能	7 14 24				ボタン	#	H			覆る。	(特)	通話機		が発送	( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )										無
種別・容量等の内容    直動装置					叫片	MI		9		į	光明の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の	**		一河				啉	起動	燕			_	_	用
	・一本 4 8 8 9 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		    	完了時	装置の作動状況	完了時	H	切替機	1	哲回線 共	替状	ハンズフリー通話 へ の 移 行 状 況	通話 <u>終了後</u> の 呼返し状況	替状	不応答時の 通報継続状況	<u>蓄積音声信報送出後</u> の呼返し状況	し機	情報機	置優先機	田し藤	報機	起動装	起動機	起動裝	ш
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			sec		sec	V																		別・容量等の内

礟

74

圃 袱 燕 滍 \*\*  $\times$ 

ハンズフリー通話への移行状況 通話<u>中断時</u>の 呼返し状況

礟 F 盟 崖 \*

切替状況

通報装置に限る。) 通話機能等 (特定火災

電話回線の保 持 状 況

通話機能等 (特定火災 通報装置を

不 応 答 時 の 通報継続状況 切替状况

深()。)

癜

※再呼び出し機能 蓄積音声情報機能 手動起動装置優先機能 ※通報頭出し機能

<u>消防機関側から</u> の呼返し状況

碶 H 拱 崖

\*

優先通報機能

起機

動館

連動起動機能

手動起動装置

遠隔起動装置

10	_
※四の実際は	この用紙の大きさは、
「火災浦	
「火災涌報装器の基準」	日本工業規格A4とする
(平成8年	142753

使用試験装置

卣 9 H

礟

 連動
 受信完了時間

 起動
 受信完了時間

 機能
 音響装置の作動状況

巽 堙

# 電源試験

#

 $\mathbb{H}$ 

sec

<

sec

電源の自動切替機能

II

ター機能

推進してダン

音響装置の作動状況 受信完了時間

症

通報内容:

るものにあっては、省略できる。 ≒消防庁告示第1号)に適合している旨の表示が付されてい

4 配線についての試験結果報告書を添付すること。5 総合操作盤が設けられているものにあっては、総 3 結果の欄には、良否を記入すること。

4 配線についての試験結果報告書を添付すること。 5 総合操作整が設けられているものにあっては、総 3 結果の欄には、良否を記入すること。 るものにあっては、省略できる。

総合操作盤が設けられているものにあっては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

総合操作盤が設けられているものにあっては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

- 3 -

				標				74			鐎				<b>*</b>						癫	黨	$_{\mathbb{H}}$					
西			存业	ガス路	対用用					<b>整</b>	削貯蔵	消火薬			严			>. {			器	延べ面積	〜					
umi	ガス	加圧用			機器						機器				娯			7     ;		彈	認定番号		_					
動	Ħ	種	酌	Ħ	<i>)</i> ,	谷	加圧	州	)H Y	= 日 4		F	# H 4		淄		ll h		罚	纝			)項					>.
NV.				ħ	1/		#	₩	>.	罪	並	>.	総	罚	⊁		ダフ			掻								シケー
羰	Х			調整	ブ	器	ガス容	辦	ルダ	藏谷	示 E 力	ルグ	器	巌谷	操	表示	*	構造・性		ш	市	5,		用名	住 所	試驗実施者		パッケージ型消火設備試験結果報告書
圃	胂	題	m)j	器	溢	#	點	珊	湽	點	TOUR +	瀸	#	器	渔	#	存	ء	鐮									備對
															種類					種別	製造者	器 数	權造				試験実施日	験結果幇
	MPa														<u>消火薬剤</u> 量					・容量等の内容	設置個数	想上 階 想下	А . В . С	Ð			年 月	<b>设</b> 告書
																				結果		審						

別記様式第30

 $\Theta$ 

				零			꿹	į			홾			9.						豪	XEN	囲						] 迪
西				ガス浴	加圧月		21				門藏容	消火剤			严		\;\ \!\		-	器	延べ面積	用途						別記様式第30
便	ガス	加圧用		74	養器						機器				灦		ケージ		异	認定番号		(						530
	Ħ	種	門	H	>,	俗	加圧	採	F	言 刊 4		ì	排 刊 斗		淄		H H	频	퓇			)項					>.	
粧	X			力 調	77	器	H H	+>	>,	严	盐	>,	松	斝		Ŀ	ڊ 		展						뺓		パッケー	
				墨機	¥	710	ガス容	絣	ルダ	藏容	示 圧 カ	ルダ	報	凝浴	*	表示	*		ш	中	m²	•	<b></b>	住 所	試験実施者		-ジ型消火設備試験結果報告書	
	脚	别	平	報	猶	华	器	剛	類	器	J #	猶	华	報	产	48	*	備		ďμ				٠,,			設備討	
															種別				種別	製造者	階数	權 造				試驗実施目	験結果幸	
ı															進火				砂		越上	Α				西田	R 生 書	
															消火剤量				量等の	影量	靐	. • В				年		
	MPa														0				の内容	設置個数	当		TIT			Я		
																					響	С	印			Ш		$\Theta$

パッケージ型消火設備

0

パッケージ型消火設備

<b>能</b>	関	合資	幣		聚			ా			影響	熱熱	<b>*</b>		
		游			碶	Ħ	動	<b></b>		Ξ.	H		[ 삼 4	<del>)</del>	
		総合作動試驗		7	# 申 計		以现在给平			WAS	ň	4	はしてい	4	跳
		<b></b> 大縣		<u></u>	Į.		B 4	相		#	孙	\	计	삵	
	ĬĬ.	放	`	誰	卌	Æ	74	盐	從	常圖		ズル	ース		漿
	*		Ж	4	源[	力		싞			Э	,	y -		
	採	射	Ť	曲	自動		1/			(内蔵型		) :	11 -	ſ	卅
	Ž.	34	晃	Æ	妲	讕		Æ	110	源 (内藁型のものに限る。)	圕	ズル	, 計		
	。	块	*	· 0	替	概	ブ	力		のに関		珊	1		ш
	重れ	況	弁	- MA	機能	器	類	Dil.	弁	限る。)	鎮	期弁	ス架	K	
	_	CL	777	lim	DD	#KII	Allin	+	777		944	772	VΠ		
		放射時間		V											種別・容量
															(A)
		秒		AΗ							V			m	内容
															結果

<b>能</b>	叉零	総合指		零		40 40	蒸			零	無 類	<b>*</b>		
		総合作動試験	27 33	零件手手	翼	動きを	14 小木		H WA	ă	4	<u> </u>	и	洋
		機が	誰	i ii	Ħ	ة كر	益益	谷	非常言	乖	×	計 1	弁	験
	剤の漏	メ ル 開 閉 弁       射 状 況	子電圧・容量	源自動切替機能	力調整器	ルーグ類	示 E 力 計	器弁	電 源(内蔵型のものに限る。)	用電源	ハ、ノズル 開 閉 弁	スリーア、ボース架	I R	項目
		放射時間 秒	V AH							V			m	種別・容量等の内容
														常果

備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。
3 Aは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Bは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火種築物で内装制限したもの及びCはA及びB以外のものをいう。

4 結果の欄には、良否を記入すること。5 非常電源(均蔵型以外のもの)が設置されているものにあっては、非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

(備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 2 選択肢のある欄は、該当する事項を心印で囲むこと。
 3 Aは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Bは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火建築がで均装制限したもの及びCはA及びBU外のものをいう。
 4 結果の欄には、良否を記入すること。
 5 非常電源(均蔵型以外のもの)が設置されているものにあっては、非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

- 5 -

		Š				2	af.			鷓				*					器	蒸	延	用					
	3	田上川 足子 野路 なくれ 弾	i i				İ	<b>利</b> 貯蔵	消火薬			严			>. &			Ħ		認定型	延べ面積	途					
		癫						癜				揻			7-3			ev	No.	共審		(					
門	Ħ	器介介	松	加	採	Š	i	部		琳		湽	п		Ų Ų		蝦	骤	中	号题		)項					
	七	容器方		圧用	₩	) }	H 4			用 以 大		火	專		11					邂							パッケー
	讕	霊	器	Ħ		ズラ	貯蔵	指示	ズル	作 動 (容器弁	貯蔵	Nei	放射	表	<i>→</i>	藩		項		面積					型		ージ雪
	쩷	放装器		ス谷	採	Ž	松	圧 力	Ĭ	作動装置 (容器弁開放装置)	谷	ᄴ	×	쉐		・		ш		費型	n		Ħ	Ħ	試驗実施者		(自動
鄆	器		华	報	剛	溢	點	4	ے	置置	器	剎	媖	樂	*	能	童				m²		₩	콘	<b>⋣</b> ₩		肖火
												種類 消火薬剤量 8						種別・容量等の内容		式 製 造 者 設置	階数地上階地下	構造   A · B · C	白			試驗実施日 年 月	-ジ型自動消火設備試験結果報告書
																		語		個数	靐					Ш	

別記様式第31

 $\Theta$ 

		零				<b>#</b>			薦				4				點	姦	至	<b>H</b>						別
	対略発発						型	消火剤			777		\	). ė		弄	,,-	認定型	にべ面積	H ※						別記様式第31
	蒸						※ 器				癜			ケージ			坦	过式番号		^						31
圧 力	(谷器	俗	加圧	採	F	書 刊 斗			離 用 共		消	回事		;     4	频	颗		防 護		) 項					7.	
躙	動 装器弁開放装	器	用ガス	分数	ズド	野蕨	描示品	ズチ	_	野蕨	*	放射	. 世	<i>y</i>		項		面積					景響		パッケージ型自動消火設備試験結果報告書	
器	※ 置 ) 置	*	容器	岡	ブ 類	路	圧力計	ブ類	年 動 装 置 (容器弁開放装置)	容器	剷	区英	小學	存	備	ш		型	₽°			<b>企</b> 所	試験実施者		自動消火	
											種別							共	羅	樺					設備試腦	
																種別		變	数	部				試驗実施日	語	
											消火剤量					容量		造	善于	Α				街田	、報告書	
			'	ı							EPP.					(単)			審					件		
																内俗		者数	地下	В .				Я		
											Q					語果		置個数	墨	С	<u> </u>			ш		Θ

_	
1	
્	
7	
ď	
j.	
3	
114	
HZ.	
Ш	
更	
雙	
THE	
100	
$\sim$	
一円地	
~:	
垂	

田 田 田 2 2 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4			4	V.	スイ	田	飯		ı	
大型   加田用   種別・容貴等の   2022			爿	^		袋	順	辩		
T.H.用   Ma			<b>III</b>			便	- 44	1		
T.HH   MI.H   M   M   M   M   M   M   M   M   M			뾼		知		졣	絣	拙	
T.H   MEH   種別・容量等の   A   A   A   A   A   A   A   A   A			*			苯				
                 			器	麹	噩	力	Ħ			
Nu			苎	7	7		>,			蒸金
加田用     種別・容量等の       加田用     種別・容量等の       水ス     単       機     知     力     法       表 示     力     大     田     田       表 示     力     大     田     田       表 示     力     大     田     田       表 示     力     本     田     田       表 示     力     本     田     田       表 示     財     日     日     日       表 示     財     日     日     日       表 日     日     日     日     日       表 日     日     日     日     日       表 日     日     日     日     日       表 日     日     日     日     日       表 日     日     日     日     日       表 日     日     日     日     日       表 日     日     日     日     日       表 日     日     日     日     日       表 日     日     日     日     日       表 日     日     日     日     日       表 日     日     日     日     日       表 日     日     日     日       表 日     日     日     日 <tr< td=""><td></td><td></td><td><u> =</u></td><td>ħ</td><td>Ħ</td><td>爿</td><td>益</td><td>発権、温が水</td><td>四月 原民 原田</td><td></td></tr<>			<u> =</u>	ħ	Ħ	爿	益	発権、温が水	四月 原民 原田	
財         機         項         目         種別・容量等の           対         大         大         長         日         別           成知的         成         知         法         四         四           表         村         助         装         回         一           表         村         面         品         等         一           表         場         出         等         一         一           表         場         出         等         一         一           表         場         出         等         一         一           機         財         所         等         一         一           機         財         所         等         一         一           機         財         所         等         一         一           機         財         所         等         一         一           機         財         所         等         一         一           機         財         所         等         一         一           機         財         所         等         一         一           機         財				放装置	弁開;	容器。		} }	-	
対			°)	に限る	080	刁巌型		非常電		п
対ス     張     張     田     種別・容量等の       がス     ガス     具     9       成知部     極     知     方     法       原知部     極     知     方     法       東     財     配     助     装     置       大     市     市     中     ー       大     市     市     年     毎       大     市     市     年     毎       大     市     市     年     年       大     市     市     市     中       大     市     市     市     中       大     市     市     中     中       大     市     市     市     中       大     市     市     市     中       大     市     市     市     中       大     市     市     市     中       大     市     市     市     中       大     市     市     市     ー       大     市     市     市     ー       大     市     市     市     ー       大     市     市     市     ー       大     市     市     中     ー       大     市     市 <td></td> <td></td> <td>藻</td> <td></td> <td>曲</td> <td></td> <td>Ļ</td> <td>乖</td> <td></td> <td><b>1</b></td>			藻		曲		Ļ	乖		<b>1</b>
加田用         種別・容量等の 財 ス         類         項         目         種別・容量等の 財 ス         類           成知部         極         知         方         法         日<	1		継		4/11	e)e		蒸		
対ス         張         張         田         種別・容量等の           がス         ガ         ス         與           成知部         極         知         方         法           原知部         極         知         五         品           東         財         財         額         二           東         財         財         額         日           大         場         日         中           大         場         日         中           大         場         日         中           大         別         日         中           大         場         日         中           大         別         日         中           大         場         日         中           大         別         日         中           大         財         年         日           大         別         日         中           大         別         日         中           大         別         日         中           大         別         日         中           大         別         日         中           大			111)	華	<b>3</b> 4	Nm.	按		E	,
加田         種別・容量等の 相別・容量等の 方         機別・容量等の 大           機知部         機         知         方         決           機知部         機         知         方         決           表         知         知         報         日           表         活         力         決         個           表         活         力         共         日           表         活         日         中           基         お         等         中           基         お         等           基         お         等           基         お         等           基         お         等           基         お         等           基         お         等           基         お         第           基         お         第           基         お         第           基         お         第           基         お         第           基         お         第           基         等         中           基         第         第           基         第         第           基 <t< td=""><td></td><td></td><td>湾</td><td></td><td></td><td>聊</td><td>围</td><td>設置方</td><td># = =</td><td>零十</td></t<>			湾			聊	围	設置方	# = =	零十
加田         種別・容量等の 大久         類         項         目         種別・容量等の 類           成知的         成         知         支         班           原知的         成         知         班         部           要如的         成         知         報         品         品           表示         方         方         部         一           方         財         日         一         一           方         財         日         一         一           方         財         日         一         一           方         財         日         一         一           機         財         財         年         中           機         財         財         年         中           機         財         財         年         中           機         財         財         年         中           機         財         事         中         中           機         財         事         中         中           機         財         年         中         中           機         財         中         中         中           機         財<			##		川		門	i I		
加田         種別・容量等の 地田         機別・容量等の 大久         規則・容量等の 大久         規則・容量等の 大久         規則・容量等の 、規則・         規則・公司等の 、規則・         、公司等の 、規則・         、公司等の 、規則・         、公司等の 、規則・         、公司等の			睴		推	Medi	ini)	耐		
加田用         種別・容量等の 類な的           機知的         人名         更           機知的         人名         分         法           表         力         法         信           表         力         法         信           表         方         法         信           方         方         法         信           表         計         信         一           表         指         等           本         指         等           本         活         等           本         持         等           本         表         等			器		婡	m-(F)	*	配	1145÷	rűm
加圧用         種         項目         種別・容量等の			況		共	(mp)	<b>=</b> 0	经		FE SE
加田用 切入         種         項目         種別・容量等の 類々           が入 成知部 優         類         女         量           原知部 優         原         知         方         法           平 表 示 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「			#		400	2002		瘘		
加圧用         種         項目         種別・容量等の           加圧用         種         別           感知部         級 知 方 法            感知部         人 知 報            要如部         人 知 報            表 知 財 裝 體             表 示 灯 ・ ス イ ッ チ             方 護 措 體         一            子 信 品 等             ※ 書 品 等			#		""	港		外	歴が、井	7
加圧用     種別・容量等の 対ス       加圧用 対ス     種     別       感知部 感力的     感 知 方 法 感 知 知 報     一一       表 知 知 報 形 可 調			華		400	盐		機	4-11-8	kí
加圧用         種         項目         種別・容量等の 知           がス         ガ         ス         量           感知部         感         知         法         一一           表 知         近         助         装         置           表 示         近         人         人         人         一一           表 示         近         力         等         一一           方         調         品         等         一一			睴		辮			総	Т.	無
対ス     張     項     目     種別・容量等の       ガス     ガス     具       成知部     感     知     方     法       原知部     感     知     据        事     動     挺     助     装        表     示     力     子         表     示     力     ス     イ     ッ     チ       表     示     力     ス     イ     ッ     チ       表     示     力     ス     イ     ッ     チ			444		∄□	<b>##</b>  F	4	4		
加圧用     種別・容量等の 類々       加圧用     種     別       ガス     力     法       感知部     極     知     方     法       要     短     知     器       事     動     短     知     器       要     定     知     器			稇		措	NUR	mult.	防	高級	THE VIE
対ス     験     項目     種別・容量等の       加圧用     種     別       ガス     ガス     量       感知部     感     知     方     法       平     動     起     助     装     置			Ŧ				苎			
加圧用     種別・容量等の       ガス     ガ ス 量       感知的     感知の     方法			踊	辮	動	斯	<b></b>			*
対ス     張     項目     種別・容量等の       ガス     ガ     ス     量       ightain     感     知     方     法			韞		知		憑	du HY 85%	画型級	
対     験     項     目     種別・容量等の       加圧用     種     別       ガス     力     ス     量	1		法	方	召	4	緛	mb cm 如		
加圧用 権 別			胂		K			ガス	金銭	
験 項 目 種別・容量等の			週					加圧用	三月	4 12
	1 7	容量等の		ш		項	. >>>		쀟	

<b>ミッケージ</b>
ケージ
િલ્
- 63
Щ
Ш,
動消

			零	F		蒸							\$	零			Ţ	HÇ.			Ą	É			7	≩						ジッ
			零		便	帝			ď	H		\$	李			ПŘ	技		À	ii.	-11		軍運			西西	1					15-
	1jd	Ē		崋		器紙	开足	T. LL	Š	前		I	茶王 二				放出導		3	4 中計			党 單信 猴			超男後	É				700	\$
	ill ×	2				714	四颗谷裔、 圧用ガス	) } !-	<u>VIII</u>	∃4}:	瘯		政治	š	型	門	翠	燕	*	蒸		4	37	世	##	ķ	 Ŗ	Ħ	#		巽	ジ型自動消火設備
	拼 硼	k 1					ピス 弾を	μ ±	非常電源				設直方法	1							紫			쉐		1	融 钟 郵	К	加圧用			動消
	_		_		177		描		颜			_	曹	門	-						<del> </del>				剰	澳	- 八字	_		鬥	鑀	火き
銜	峽	#	緛		H	7.	ЩĠ	企会	$\mathbb{R}$	⊞		拔		FLI	逦	卿	睴					龕	羉	Ť	294.1	烘	15%	Ħ	種			備
亩	费	便		规	ź		ોા	tNo.	(内蔵型の		器	Mm.	卿					豁	憲	器				•	断		VIS.				温	
М	×	抵	V.1%		101111	7		無 弁 目	9		410	對	ſΥ					4/10	1111	4/10	辦			×	使		知	\ .				
7	Ç	靊	知		灩		H	開放	9	#			9	圃	莊	脒	苯					뭄ㅁ	莊			知	X.	К			Ш	
્	無	辫			概	Y	t	報 改 被 被	のに限			禪	菝											્	辩		方					
			-1-1			NINE.			ر د د د	٠							<b></b> .			.05												
4	븼	圃	些	华	器	類	平	一回		源	₩	珊	熊	#	珊	器	完	₩	华	#	圃	#	圃	F	暉	器	拼	脚	别	平		
																															種別・容量等	
										V																		MPa			等の内容結果	0

機能試験作動試験 備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。 淅 痡 総款合験 パッケージ型自動消火設備 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。 3 Aは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Bは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火建築 物で内装制限したもの及びCはA及びB以外のものをいう。 5 非常電源(内蔵型以外のもの)が設置されているものにあっては、非常電源及び配線についての試験結果 4 結果の欄には、良否を記入すること。 総合作動試験 報告書を添付すること。 14 非常電源 + 礟 \*\* 電源自動切替機能端子電圧・容量 音響警報作動状況 選択弁作動状況 屈 袱 ш 剛 種別・容量等の内容 < ΑН 結果 (3)

篇 数 1 5 4 3	.ht	章		総合					パツノ
被 答			-	総合作動試	4 电 氮	÷ ÷	中	試験	パッケージ型自動消火設備
この用鉄の大きさは、日本工業規格A4とすること。 選択肢のある棚は、該当する事項を○印で囲むこと。 Aは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Bix物で内装制限したもの及びCはA及びB以外のものをいう。 結果の欄には、良否を記入すること。 非常電源 (内臓型以外のもの) が設置されているものに報告者を添付すること。			音響警報作動状況	選択弁作動状況	端子電圧・容量	電源自動切替機能	継    装   置	項目	<b>、設備</b>
この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。 Aは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Bは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火建築で内装制限したもの及びCはA及びB以外のものをいう。 結果の欄には、良否を記入すること。 非常電源(内蔵型以外のもの)が設置されているものにあっては、非常電源及び軽線についての試験結果					V AH			種別・容量等の内容	
新 華 秦								結果	(3)